

劇団I.Q150

2013.8/17(土)・18(日)
塩竈市遊水一丸



塩竈特別バージョン

それでは明日はまた

作・演出 丹野久美子





藤原 真
(客演・劇団やんま)



高橋 史生



齋藤 真生



大崎 マサヤ
(新人)



せき けんじ
(客演)



たま

塩竈特別バージョン

それでも明日はきっとくる

作・演出 丹野久美子



日時

- ① 8月17日(土) 午後6時30分開演
- ② 8月18日(日) 午前11時開演
- ③ 8月18日(日) 午後3時開演

※開場は開演の30分前、受付開始は開演の1時間前です。
 ※受付開始時から整理券を配布いたします。
 ※全席自由席です。入場は整理券番号順となります。

会場

塩竈市遊ホール(壱番館5階)

JR仙石線 本塩釜駅から徒歩3分

〒985-0052 宮城県塩釜市本町1番1号 TEL.022-365-5000

料金

- 一般 2,000円(当日2,500円)
- 中・高校生 1,000円(当日1,500円)
- 小学生以下 500円(当日1,000円)

※保護者同伴の未就学児は、お席をご利用にならない場合は無料です。

※以下の方は、劇団I.Q150へご予約いただくと無料となります。

- 仮設住宅・みなし仮設にお住まいの方。
- 障がい者手帳をお持ちの方と同伴の方1名。

ご予約

劇団I.Q150 ☎022-342-0651

※留守番電話にての対応になる場合がございます。折り返しご連絡いたしますので、ご了承ください。

ホームページ <http://www.iq150.info>

※予約フォームから、ご予約いただけます。

協力 菅野音楽教室・(株)あきは書館・峰山商会
塩竈夢ミュージカル市民スタッフの皆さん

後援 マリネット/ベイウエーブ

主催 塩竈市遊ホール協会/劇団I.Q150

プレイガイド

ローソンチケット Lコード: 23068

チケットぴあ Pコード: 430-146

カワイミュージックショップ仙台

松尾カメラ/メロディース/株式会社仙台三越

フジサキスポーツ/ミュージックスタジオキューブ

サトー時計店/美容室マサヒコ/喫茶ノノノ

金犬くん利府店/塩竈市遊ホール協会(壱番館4F)

お問い合わせ先



劇団I.Q150

〒984-0015 仙台市若林区卸町2-2-1
ボックス倉庫2F
TEL&FAX 022-342-0651

劇団I.Q150 がお届けしてきた 塩竈夢ミュージカルの6年のあゆみ

2008年の公演から、作・演出を丹野久美子が、指導やスタッフに劇団のメンバーが参加しています。

- 「ゴメンナサイが言える時」
2008.2/10(日)・11(月・祝) 3回公演
- 「天使の梯子」
2009.2/28(土)・3/1(日) 3回公演
- 「月夜の七曲坂」
2010.2/13(土)・14(日) 3回公演
- 「ゴメンナサイが言える時 2011」
2011.2/12(土)・13(日) 3回公演
- ココロノキンセンアワー 第5話
2011.6/26(日) 1回公演
- 「風のあしあと 一月夜の七曲坂 第二夜」
2012.18(土)・19(日) 3回公演
- 夏のコンサート
2012.8/5(日) 2回公演
- 「海に浮かぶ月」
2013.2/16(土)・17(日) 4回公演

抱腹絶倒お茶の間コメディ「それでも明日はきっとくる」
今回は、塩竈特別バージョンでお届けします!!

仙台市宮城野区苦竹に住む佐藤家は5人家族。
この家の主人(父)は13年前に他界。夫を亡くし、私が働かなければと一念発起し48才にしてスナックのママとなった母・満子。自宅を改造し、隣に「スナック若竹」をオープンし、以来、女手ひとつで4人の子供を育ててきた。

4人の子供たちも、それぞれに仕事をしたり、家を出て暮らしていたり、学校に通ったりとつましくも平和に過していたのだが…。

さて、今回の舞台は、東日本大震災から二年半が過ぎた8月のある夏の日。

長男・秋生は、朝から大事な来客を迎える準備に忙しい。高校生の三女・夏子は、久しぶりに部活が休み。従兄弟の翔太に勉強を教えてもらっている。そこに、実家を出ていた音信不通の長女・春子と次女・冬子が突然帰って来た。

それぞれの思惑と勘違いが入り乱れ、加えて、スナック若竹の常連客たちも、狭い佐藤家の茶の間に次々とあられる珍客来客。あれやこれやの小競り合いが勃発し、平和だったお茶の間が一挙に戦闘状態に…!

昭和の町内会は、まだまだ生きている!! 義理も、人情も、おせっかいいも、愛もみんなまとめて、笑い飛ばそう。小さな家族とご近所の愉快な人たちのささやかな日常を、コメディタッチでお届けする、笑ってあきれて、夏の一昨日。

作・演出 丹野久美子

劇団I.Q150 プロフィール

- 1979年旗揚げ。以来、主宰丹野久美子の作・演出作品を上演。宮城県仙台市を拠点とし東北各県や東京などで公演を行っている。今年で活動35年目に突入。
- 男と女の様々な局面を、幻想性とリアリティ/繊細さと力強さという相反する表現を緻密に織り上げ展開。さらに只野展也による音楽が、作品に奥行きと深みを与えている。
- 近年では家族や仲間といった、男と女のあいだにとどまらない「人と人のつながり」を丹野ならではの視点で描きだしている。
- 主宰・丹野久美子
- 1991年 平成2年度宮城県芸術選奨新人賞受賞
- 1998年 平成9年度宮城県芸術選奨受賞
- 劇団I.Q150
- 1991年 パルテノン多摩小劇場フェスティバル優勝
- 1994年 下北沢演劇祭 招聘
- 1997年 シアターフェスティバル水戸'97 招聘
- 2003年 塩竈市遊ホール協会自主事業公演(「シュガー・ドロップス」)
- 2003年 第3回愛知県芸術劇場フェスティバル 招聘
- 2005年 築館高等学校芸術鑑賞会 招聘



丹野 久美子



江目 ひとみ



友 樹



高橋 リツコ



星川 麻衣



星川 律子